

「平成31年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		老人福祉館運営費 [老人福祉施設貸出事業]											
予算科目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	2	社会福祉施設費	事業番号	1		
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)												
担当部署・課長名		地域振興			課			市民センター			係	課長名	石川 正憲
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号		2 - 2			
【施策名】 高齢者保健福祉の推進								総合計画書 (ページ)		51			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)								
	市内に居住する60歳以上の方及び、原則として市内に居住する60歳以上の方を持って組織する団体				市内に居住する60歳以上の方								
	→												
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)								
2 指標の推移	①福祉の増進 ②地域交流の活性化				① 1日当たりの平均利用者数								
	→												
	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)								
	・市内に5施設ある老人福祉館(老人福祉センター(奈良橋)・向原・上北台・清原・南街)の貸出及び維持管理 ・南街は単独施設、他は市民センター内にある。貸出の受付・承認、施設の維持管理を行い高齢者に交流の場を提供している。夜間及び日曜の施設管理はシルバー人材センターに委託している。				①延べ利用日数(全施設合計) ②延べ利用件数(全施設合計) ③延べ利用人数(全施設合計)								
3 経費	事業費(実績)		単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標					
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標					
	対象指標	①の数値	人	26,942 (1/1現在)	27,155 (1/1現在)	27,325 (1/1現在)							
	成果指標	②の数値	人	26.0	28.0	27.5							
4 環境変化等	目標		②の目標値	人	28.0	28	28	28	28				
	目標値設定の考え方												
	活動指標	③の数値	①日 ②件 ③人	①1,479 ②3,105 ③38,652	①1,490 ②3,168 ③42,130	①1,356 ②2,954 ③37,294							
	事業費(実績)		円	21,811,926	21,585,334	22,098,827	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)						
財源	一般財源	円	21,762,566	21,540,604	22,064,507								
	特定財源	円	49,360	44,730	34,320								
人件費(目安)	(うち受益者負担)	円	49,360	44,730	34,320								
	所要人数(再任用以外)	人	0.3	0.3	0.3								
所要人数(再任用)	人	1.2	1.2	1.3									
職員人件費(再任用以外)	円	2,475,900	2,473,200	2,493,000									
職員人件費(再任用)	円	3,624,000	3,622,800	4,094,400									
事業費+人件費		円	27,911,826	27,681,334	28,686,227								
(1) 開始年度		S45 年度											
(2) 環境の変化		利用団体構成者の高齢化、老人クラブへの加入率は低下傾向にある(高齢介護課より)。一部の施設において、有料による夜間利用団体が増えてきている。 入浴設備用ボイラーの故障や大規模な漏水が発生し、入浴事業を休止せざるを得ない施設があった。											

事業名称	老人福祉館運営費〔老人福祉施設貸出事業〕			
担当部署・課長名	地域振興	課	市民センター	係 課長名 石川 正憲

5 市民等 の 意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 入浴設備用ボイラーの故障等により、入浴事業が当面の間休止になった施設に対する再開の要望が複数あった。 体力の低下等により自力で入浴するのが難しい利用者による事故が発生した場合、性別によって入浴事業担当者が対処できないケースがあり、他の利用者に協力をお願いすることがあるが、体力的に厳しいので施設側に対処してほしいと要望されている。			
6 市民 協 働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☒ 取り組んだ	取組手法：③⑦		
	☐ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
7 課 題	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 年1回、清原市民センターにおいて地域の老人会により除草を行っている。他の市民センターでも簡易な修繕を無料でしていただいたことがある。このような活動を広げていくことにより、市民協働の促進が図れる。			
	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 利用者の高齢化、生活様式の変化などから、畳の大広間では利用しにくくなっている模様。椅子での対応が可能なフローリングに改修が必要があると思われる。施設の老朽化、風呂の給湯機器の不具合、空調機器の故障の頻度が増えてきているので機器更新の必要がある。 公共施設等総合管理計画に基づく市民センターの施設の長寿命化及び修繕計画を策定する必要がある。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 故障した部分や法定点検の指摘事項を中心に修繕を実施している。 平成31年度から実施された公共施設等包括管理委託における巡回点検等により提言された改善点や、公共施設等マネジメント課から示される予定の長期的な修繕計画を踏まえ、大規模改修等を検討していきたい。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 上記により示される大規模改修等の時期、予算が課題となる。 向原市民センター及び桜が丘市民センターの空調設備で使用する冷媒が令和2年度で製造中止になるため、公共施設等マネジメント課から示される修繕計画を待ってられない施設も出てきている。			
	8 施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 高齢者保健福祉の推進 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）			
9 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止			
	【取組内容】 老人福祉施設のあり方について検討する必要がある。公共施設の配置も含め、高齢者専用の施設でよいのか、畳で問題ないのか、必要な設備等も合わせて再検討が必要ではないかと考える。風呂利用者が固定化されており、対象年齢のごく一部の利用に限られている。公共施設の総量や適正配置を踏まえながら、風呂の廃止や別のサービスに切り替えるなど様々な手法の検討が必要である。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 防衛施設庁補助金を受けて建設されている施設が多く、安易な目的変更はできないが、施設の大規模改修、機器更新等のため、高齢介護課、財政課等の関係部署との調整が不可欠。			